

教育行政報告

最近の教育行政について報告いたします。

○ 最近の学校の様子について

7月22日から始まった34日間の夏季休業も無事終了し、8月25日から2学期を実施しております。今年は、夏季休業前から暑い日が続きましたが、昨年度設置したエアコンのおかげで、体調を崩す子どももおらず、快適な環境の中で集中して学習を進めております。また、感染予防対策の徹底を継続しながらも、活気ある学校生活を送っております。

2学期は、学習に集中できる時期でもあり、また大きな行事を予定していることから、子どもたち一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるよう、引き続き学校と連携を密にして参ります。

また、今年度から導入された1人1台端末の効果的な活用に向けて、夏季休業中に全教員を対象とした情報教育研修会を実施しております。併せて、優れたICT活用技術を有する教員7人を「ICTマイスター」に任命し、1人1台端末を活用した授業実践に率先して取り組んでもらっているところであります。今後は、端末の活用が日常化するよう、学校訪問などを通して、働きかけて参ります。

○ 児童生徒による各種大会等の結果について

6月27日に開催された全国小学生陸上競技交流大会秋田県予選会において、象潟小学校6年の選手が、ジャベリックボール投げと走り幅跳びの2種目で競い合うコンバインドBという種目で、見事優勝を果たし、全国大会出場を決めております。

全国大会での活躍を期待しております。

○ にかほ市大学生等生活支援事業について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、親元を離れて暮らす大学生たちの生活に影響が生じているため、「大学生等生活支援事業」の制度を設け、本市出身大学生等に対し生活支援として現金2万円、その保護者に商品券3万円分を給付しております。

8月27日現在、210件の申請があり、順次対応しております。

○ 市民文化祭について

今年度の市民文化祭の展示部門は、作品展示会として、一般の部を11月1日から来年の3月27日まで、各団体2週間ずつ各公民館ギャラリーで行い、発表部門につきましては、芸能祭、音楽祭を10月23日、24日に仁賀保勤労青少年ホームを会場にオンライン配信での実施を予定しております。

子どもの部の作品展示会は、10月20日から10月24日まで、華道、盆栽などの部門は10月23日、24日に各公民館で行う予定であります。

なお、将棋などの大会関係、茶道などの体験コーナー、バザー、飲食ブースは中止することに決定しております。

○ 第37回奥の細道象潟全国俳句大会について

第37回奥の細道象潟全国俳句大会は、投句の募集と選句を行い、句集の送付による誌面大会として開催しております。

子どもの部では、県内小・中学校合わせて23校から1,861句の投句があり、秋田県現代俳句協会顧問の宮本秀峰（みやもと しゅうほう）氏に選評をしていただきました。

一般の部では、全国各地から234名、467句の投句があり、日本伝統俳句協会監事の山田佳乃（やまだ よしの）氏に選評をしていただきました。

それぞれの部で、特選3句、秀逸15句、佳作30句を入選としております。

本市は、奥の細道紀行の目的地の一つであり、秋田県内唯一の芭蕉ゆかりの地として、この伝統ある俳句大会を継続して参ります。

○ 青少年育成にかほ市民会議のリーダー研修会について

8月6日、市内3中学校の生徒会役員を対象に、リーダーの役割や責任、中学生の地域との関わりなどをテーマにした研修会が行われました。

今回の研修は、仁賀保高校生とのグループワークや「わくばにかほ」の施設見学、一般社団法人ロンドとのワークショップを行い、自分たちが今抱えている問題から、何を担うべきか、また、そのために必要なスキルアップは何かなどを真剣に考え、学び、有意義な研修会となりました。

○ 企画展「超神ネイガーとスノーファイターNOBU（のぶ）」について

白瀬南極探検隊記念館では、7月20日から企画展「超神ネイガーとスノーファイターNOBU（のぶ）」を開催しております。

市の「ゲンキリチャージプロジェクト」との連携事業として開催し、夏休み期間中は家族連れをはじめ多くの来館者にご観覧いただきました。

今後とも、展示やイベントを通して白瀬轟の功績やにかほ市の魅力を発信して参ります。

○ コロナ禍におけるイベント等の中止について

9月に開催予定でありました「米村でんじろうサイエンスショー」、「白瀬・南極フェア」、「第11回鳥海山伝承芸能祭」は、新型コロナウイルスの厳しい感染状況を踏まえ、多数の出演者、来場者を迎えての開催は困難であると判断し、中止を決定しております。

大会中止は苦渋の決断ですが、来年度には盛大に開催できることを願っております。